

「考古資料が語る

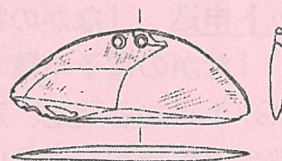
～縄文時代・弥生時代の“食”と社会～

ヒトを取り巻く環境は不変ではありません。環境の変化に伴い、ヒトは生きていくためにさまざまな知恵を働かせ、新たな道具を発明し、ほかの文化をも受け入れて、新たな食を獲得してきました。今年度は、縄文と弥生の遺跡に残された道具や構造物、遺跡（ムラや生活の痕跡）の立地などを通して見えてくる食料利用の工夫や物流について考えてみます。

場 所：長野県立歴史館「講堂」 ※特設のみ、遺物整理室で行います。

時 間：午後1時30分～3時

受 講 料：観覧料が必要です



1	信州の縄文早期の世界 ～栃原岩陰遺跡に残された“食”～(仮)	4月25日(主)
2	縄文人の食料加工技術 ～道具や構造物からみる食の利用～	7月11日(主)
3	稲作と社会の変化 ～共同体の発達を考える～ 長野県立歴史館 考古資料課長 町田 勝則	10月31日(土)
特 設	土器に残された“食”の痕跡 ～土器圧痕しづり力をとってみよう～ 長野県立歴史館 考古資料課職員	令和3年 1月30日(土)

※ 第1回、第2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

※ 10月10日(土)遺跡探訪会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します。

新型コロナウイルス感染防止のため、事前申込・抽選制といたします。

・第3回 完全事前申込制です(先着80名まで)

・特設 応募後、抽選いたします(20名限定)

裏面をご参照の上、お申込みください。

令和2年度 考古学講座 事前申し込み方法

第3回・特設は、下記の方法でお申し込みください。

第3回「稲作と社会の変化～共同体の発達を考える～」

★完全事前申込制、先着80名

★聴講ご希望の方は、下記①～④のいずれか方法でお申し込みください。

①1階受付提出 参加申込書に必要事項をご記入の上お出し下さい。

参加申込書は、受付付近に用意します。

②FAX送付 必要事項（申込日・お名前・電話番号・（あれば）メールアドレス）をご記入の上、FAXして下さい。

[FAX：026-274-3996（考古資料課 考古学講座 担当宛）]

③郵送 郵便はがきに必要事項（申込日・お名前・電話番号・（あれば）メールアドレス）を書いて下記郵送先へお出しください。

④ネット申込 「ながの電子申請サービス」の申込フォームにて

「ながの電子申請サービス」で検索、HPからもリンクしています。

★受付は 9/15 から開始、定員になり次第、締め切ります。

★定員の都合で受講をご遠慮いただく場合は、担当よりご連絡いたします。

特設「土器に残された“食”の痕跡 ～土器圧痕レプリカをとってみよう～」

★ご応募いただいた方のなかから、抽選いたします。（20名限定）

★聴講ご希望の方は、締め切り日までに、往復はがきでお申し込みください。

★抽選の結果は、ご応募いただいたすべての方に発送します。

【締切日（必着）】 令和2年11月23日（月・祝）

【応募方法】 往復はがきに、必要事項を書いて下記郵送先へお出しください。

①往信（表面）：下記の歴史館住所

②返信（裏面）：記入不要です。抽選結果を記載し、お送りします。

③返信（表面）：住所、お名前をご記入ください。

④往信（裏面）：以下の項目をご記入ください。

ア：応募される方のお名前

イ：参加人数（2名まで）

ウ：電話番号、（あれば）メールアドレス

お問い合わせ先 ・ 郵送先

〒387-0007 千曲市屋代260-6 長野県立歴史館 考古資料課

電話：026-274-3992 FAX：026-274-3996

メール：rekishikan-koko@pref.nagano.lg.jp

HP：https://www.npmh.net/